



福 祉

ながいずみ

平成23年
9月1日号

No.
153

社会福祉法人
長泉町社会福祉協議会
長泉町下土狩967-2 福祉会館内
電話 988-3920 FAX 986-3794
ホームページアドレス
<http://www.nagaizumi-shakyo.jp>

基 本 理 念

幸せを明日へつなぐ地域力

夏休み子ども手話教室が開催されました!



夏休みに入り、7月30日から8月2日にかけて低学年クラス・高学年クラスの2クラスに分かれて、長泉町福祉会館で開催されました。

参加した子どもたちは、手話でのあいさつ・自己紹介から覚え、指文字や単語などを楽しく学びました。また耳が聞こえない不便さを感じ、福祉機器にも触れ普段の生活をどのように過ごしているのかを知りました。最終日には、各クラス発表を行い、手話で伝言ゲーム・手話歌等を披露。子どもから「手話を続けたいけどどうしたらいいの?」と聞かれました。

子どもたちの手話の覚えの早さには驚かされました。



こ



ん



に



あ



は

相談窓口案内 | 社会福祉協議会では次の相談に応じておりますのでぜひご利用ください。

相談項目	相談日・時間	相談内容	相談員	電 話
ボランティア相談		ボランティアをやりたい!でも、どんなボランティアがあるの?などボランティアに関する事	ボランティア担当	988-3920
総合福祉相談	毎週月～金曜日 8:15～17:00	生活や家族、地域福祉、権利擁護、福祉サービス利用などの日常生活での心配ごとや不安、福祉に関する事	福祉総合相談担当	
酒害相談		飲酒をやめたい、やめさせたいなどのアルコール問題に関する事		987-7680
暮らしの相談『法律』	事前予約制 9月27日(火) 10月25日(火)	暮らしの中の法律に関するお困りごと 秘密厳守します。	法律専門家 植松敏彦氏	



「福祉ながいずみ」は、毎月発行になりました。よろしくお願いいたします。

ンティア支援報告

異体同心の心

辻 剛



5月17日から1週間の予定で、岩手県山田町に伺いました。

道中、畔に広がる山野草に心を奪われ、まだ日本にこのような自然が残っているのかと感動を覚え余韻に浸っていました。しかしバスが海岸線に差し掛かった時、自然と涙が溢れ言葉を失いました。見渡す限り何もありません。「この環境でしかも1週間という短い期間に自分は何ができるのだろう」。不安に苛まれながら現地到着後すぐ、現地スタッフやボランティアの後方支援、怪我人等の病院搬送業務に従事することになりました。地元の方言に一喜一憂しながら、半分のおにぎりでも1日過ごした話や、プールの水をコーヒーフィルターでこして飲んだ話など、どれも想像を超えた内容に返す言葉はありませんでした。何よりも驚かされたのは、大槌町を訪れた時のことです。町長や行政職員の多くが亡くなられたことで復旧が遅れ、市街地は、津波が襲ったままの惨状がそこにありました。

傾いた電柱に括られた小さな紙されの看板には、神社社務所に建てられた仮設病院名が記されていましたが、これがないうしろの精一杯の努力であることに心が痛みました。

しかし現地の方との交流を進めるうちに見えてきたことは、誰一人として今回の惨劇に心を取り乱さず、他の悲運に手を貸そうとする神々しいまでの気品、情弱と思われ非難されていた若者が、他者の悲運に己を捨てて立ち向かう無私の心と勇気を見せていたことです。

私たちは、有事に備えた備品確保に努める必要がありますが、それ以上に近所同士の心のつながりを深めていくべきではないでしょうか。

派遣期間中、体調不良の方が出たことで、志半ばで帰郷することとなりましたが、自他共に心身の健康管理がいかに重要かを再認識できました。

ある戦国武将が旗印に掲げた「太一萬大吉」。震災以降「がんばれ日本」等のメッセージを目にしますが、今まさに日本全体が近所づくりに取り組む時期に来ていると思います。



岩手県山田町災害派遣に従事して

石川 康治



私は、静岡県下の社協職員7名とともに第20クール派遣として、6月16日から23日まで山田町と宮古市社協の支援業務にあたり、自分は山田町の仮設住宅生活相談事業相談員として業務に従事しました。

現地の配置職員は5月下旬から6月に採用された緊急雇用職員4名。しかし、災害ボランティアセンターのニーズ・マッチング業務との兼務で動ける時間は少なく、支援のための打合せもなかなか時間が取れない状況。岩手県社協の指針が出る前で、組織体制を模索している時でした。

山田町役場では、仮設住宅の建設及び入居抽選で手一杯の状態であり仮設住宅の自治会組織化まで手がまわらない状況でした。山田町社協は役場各課と協議し了承を得て活動を開始。要援護者の発見と孤立防止を目的として、一番大きな町営グラウンドをモデル地区として6月上旬から全ての世帯を回るローラー作戦に取り組んでいます。

町営グラウンド仮設住宅は全174世帯。5～6戸単位の長屋で1棟となっています。訪問は6月21日までの間に31棟のうち28棟まで訪問が終了。入居者の生活時間に配慮し、午前は10時から、午後は1時30分からそれぞれ1時間30分ずつ行い土日と雨天は避ける中で行いました。

訪問活動の実際は、「生活の困りごとを聞く仕事をしていること」への理解を求めることから、目的とする孤立状態の人などの具体的な把握は、集会所を活用したサロン(気軽にお茶を飲んだり、おしゃべりするなど交流のできる場)を通して、時間をかけて丁寧に見出していくことが必要でした。

被災後に衰弱した高齢者を看取った世帯にも多く出会いました。津波や火災から生き延びて生活が落ち着きつつも、こうして家族の命が途絶えていく現実には胸が痛み、とても人ごとには思えない辛さを感じました。

それでも1週間の間にだんだんと生活感が漂いはじめ、鉢に花を植える人もいたり、生協の訪問販売を利用するため会員になったという話をしてくれる人もいました。それぞれの人から、あの日乗り越えて前を向いて生きようとする思いが伝わってきました。

被災地では孤独や孤立、自死を防ぐ取り組みが重要視され様々な活動が行われています。人には誰も専門職が代わることでできない大切な人間関係や居場所があるはず。長泉町社協でも小地域福祉活動などの取り組みを通して、日頃から自然な形で孤独や孤立を生み出さないまちづくりを目指して、地域の皆様とともに考え行動していきたいと思っています。



東日本大震災ボラ

仮設住宅生活相談事業に従事して

八木 貴子



7/16～7/23 まで、第 26 クールの一員として、私は宮古市社会福祉協議会（以下宮古市社協）の災害ボランティアセンターの仮設住宅生活相談事業担当として行ってきました。

仮設住宅には集会所、もしくは談話室があり、そこに住む方が集うことができます。宮古市社協は、集会所、談話室の鍵を預かっている6箇所サロンを開催していました。ここでいうサロンとは集う機会の場所の提供を指します。10 時～15 時までボランティアが常時おり、そこへ来た方と話をしたりします。ボランティアは活動終了後に把握したニーズや気づきを仮設住宅生活相談員に報告します。7/25～はさらに 5 箇所サロンを開催するため談話室の確認等準備をしていました。

イベント開催（お茶会や炊き出し、マッサージの提供等）を希望する県内外のボランティア活動者があり、サロンで活動してもらう日程調整をしていました。ボランティア活動でお茶会を定期的にサロンで実施している僧侶の方と話す機会があり、「自死があるから、長期的に活動していきたい。」と、お茶会を開く意味を聴きました。

9月いっぱいまで宮古市は避難所を閉鎖する予定だそうです。仮設住宅に入っても、入居には期限があります。サロンのボランティアから「来所者から今後の生活に対する不安を聞いた。」と報告を受けた時、生活していく方はもちろん、支援していくことも先の見えない長い道のりであると感じました。

宮古市社協では、仮設住宅の実態把握に努めており、また、復興支援説明会を仮設住宅の談話室等で実施していました。ボランティアのニーズも待っているだけではこないので、地域に出向いて要望を聴き、ボランティア活動に結びつけていました。生活者支援に重点をおいて活動をしており、社協活動の原点であると感じました。

帰ってきて思うことは、現地での活動が終わったから支援終了でなく、これから自分に何ができるのか、ということです。

むすびに 人と地域のつながりの大切さ

長泉町に大規模な自然災害が発生した際、長泉町社会福祉協議会は災害対策本部の命を受け災害ボランティア支援本部を立ち上げます。関係機関と協働して、駆け付けたボランティアのみなさんの調整など災害ボランティア支援本部の運営にあたります。災害ボランティア本部は、保健センター西側ボランティアルームに設置されます。

災害ボランティア支援本部の運営には、長期でボランティア活動に従事できる地元住民を中心とした団体が必要と私たちは考えています。平成20年長泉町災害ボランティアネットワーク長泉が設立されました。有事の際に、社会福祉協議会職員とともに本部の運営に携わっていただくことを想定しています。年に1度合同で図上訓練や意見交換などを行い、万が一に備えた演習を行っています。

5月の山田町では、ボランティア活動ができる町民はまだわずかでした。しかし、自身も避難所生活をおくっている50代の女性や30代の男性などが災害ボランティアセンターに出入りしていました。男性は、「町の人々がボランティアとしてほとんどいないこの状態が悔しい」と現状を憂えていました。地域とのつながりの大切さを実感させられる言葉でした。

長泉町社会福祉協議会では、9月2日～5日の日程で岩手県陸前高田市へのボランティアバスを運行します。活動は2日間ですが、精神的にも身体的にもハードなものになると思います。「少しでも助けになれば」というみなさんの思いが、現地の方の心の支えになることと思います。

長泉町社会福祉協議会 事務局



社協では、仮設住宅の方へ気軽に立ち寄れるサロン（茶話会）を提供しています



サロン（茶話会）でのお話の中には、住民の孤立を防ぐ役目があります



社会福祉協議会は民間の福祉団体として誰もが住みやすい福祉のまちづくりをすすめています。

戦争の悲劇を伝える展

8月13日、14日にコミュニティ長泉において駿河平いきいきクラブと長泉町遺族会の主催による「戦争の悲劇を伝える展」が開催されました。会場には戦争を物語る実物資料の展示のほか、13日は長泉町防災対策室職員による東日本大震災の映像説明、14日は麦わら帽子の会による原爆体験者の朗読劇、長泉中学生と長泉北中学生によるヒロシマ平和研修体験の発表が行われました。

また、町内戦争体験者との対話があり、6名の方が戦地での悲惨な状況を伝えました。



福祉団体紹介 「長泉町母子寡婦福祉会」



20歳未満の子どもを扶養しているひとり親のお母さん（母子家庭）やお父さん（父子家庭）、かつては母子家庭であったが現在は子どもが成人しているお母さん（寡婦家庭）たちが会員となって助け合い、励ましあっています。生活の向上と幸せを目的として組織された自主的な会であり、全国的な団体です。楽しい行事で親子、会員同士の交流を図っています。特にクリスマス会としての東京ディズニーランド行きは人気の行事です。

また、長年会長を務めた寺尾昭子さんは今年4月、県理事長に就任し、活躍しています。写真左側は山本会長、右側は寺尾県理事長です。



第6回 長泉町身体障害者スポーツ大会報告

長泉町身体障害者福祉会は、7月10日(日)、勤労者体育センターでスポーツ大会を開催し、会員とボランティアを含め約100名が参加しました。パン食い競争、輪投げやベタボードなど誰でも簡単に参加できるよう工夫された種目を楽しみ、中でもボールタワーリレーでは相互に協力しあってボールを高く積み上げようとチームごとに話し合い慎重にボールを積み上げ会員相互の親睦を深めました。



ボールタワーリレー



ベタボード



「福祉ながいずみ」は、皆さまからいただいた会費で発行しています。

いずみの郷 納涼祭

いずみの郷では、デイサービスを利用して下さる利用者皆様に喜んでいただける様、年間行事・月行事を実施しております。

7月14日には、「納涼祭」が行われました。長泉町に拠点を置きますボランティア団体「泉の会」による歌、ハーモニカ、踊りの演芸を披露していただき利用者皆様大変喜んで下さいました。これからも「笑顔」があふれるデイサービスを目指していきます。



チャレンジ夏休み

児童館では毎年小中学生の夏休みに合わせて、「チャレンジ夏休み」を開催しています。7月27(水)木工教室、7月29(金)電気教室を、それぞれ行いました。



児童館木工教室



児童館電気教室

木工教室では、椅子または本立てを作りました。講師がきれいに仕上げた材料を組み立てて釘を打ちました。釘をまっすぐ打つのが難しかったようです。

電気教室では、電気の安全な使い方を学んだ後、レモン電池を作りました。

身近なものを使って、自分で発電することが楽しかったようです。

図解で覚えるやさしい手話⑤

今回は「夏」のテーマです。まず季節を表す単語を紹介します。
「春」暖かい空気が「夏」うちわで暑い「秋」涼しい風が「冬」寒くて震える
立ち上る 感じを出す 顔に当たる

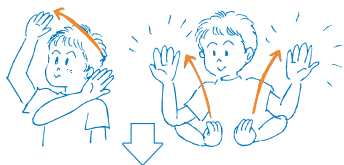


おなかの辺りから両手をゆっくりすくい上げるように2回動かす



前方から顔に風を送るような感じで両手を2回手前に動かす

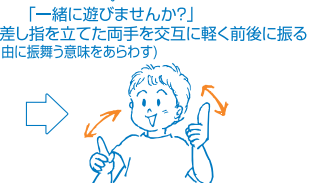
「花火」右手で頭上に弧を描く…「空」のイメージすぼめた両手を上げながら左右に開く



「山に登る」山の形を描く右手2指を登るように上にあげる…「歩く」



「海で泳ぐ」右小指で口元にあて（塩しょばい）次に手のひらを波のように動かす



クロールのパタ足のイメージで右手2指を交互に上下させながら右へ動かす



協力：身体障害者福祉会「ろうあ部」

身近な点字を覚えよう！⑤

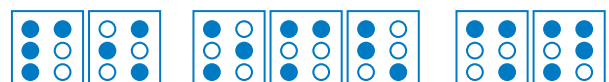
点字は6つの点からできています。6つの点で五十音と、濁音、拗音、小さい「つ」、数字、アルファベットなどを表すことができます。7月号で「あいうえお」が基本になるといいましたが、今回は「たちつと」と「なにぬねの」です。た行とな行は、あ行とどこが共通でどこが違うか見つけてみてください。

た	ち	つ	て	と
●○ ●○ ●○	●○ ●○ ●○	●○ ●○ ●○	●○ ●○ ●○	●○ ●○ ●○

な	に	ぬ	ね	の
●○ ●○ ●○	●○ ●○ ●○	●○ ●○ ●○	●○ ●○ ●○	●○ ●○ ●○

上の6つの点の数字で考えてみましょう。「あいうえお」にそれぞれ③⑤の点をつけると「たちつと」になります。同じように「あいうえお」に③の点をつけると「なにぬねの」になります。

この点字読めますか？



協力：点字ボランティア「きつつき」

情報コーナー

児童館であそぼ！

児童館(福祉会館1階) ☎988-3921
 開館時間 9:00～16:30
 休館日 毎週月曜日

10月の行事

6(木) 10:00～10:30 プチめろんタイム
 12(水) 10:00～10:20 プチいちごタイム
 15(土) 福祉健康まつり準備のため臨時休館
 16(日) 福祉健康まつり
 20(木) 10:00～10:30 めろんタイム
 23(日) 13:30～15:30 一輪車教室開講式
 26(水) 10:00～10:20 いちごタイム
 28(金) 10:00～10:20 ちょこっとタイム

参加者募集

福祉健康まつり 当日スタッフ募集

おもちゃバザーの店員・ゲームコーナーのお手伝いをしてくれるスタッフを募集します(現金のやりとりはしません。また、利益を求める活動ではありません)
 対象 小学5年生～中学生 数人
 申込期間 9/17(土)～10/8(土) 来館してください。

後期一輪車教室会員募集

対象 小学生
 定員 初級中級各20人
 定員を超えた場合は抽選になります
 会費 10月～3月 全5回 600円
 申込期間 9/4(日)～9/30(金)
 会費を持って児童館まで
 ※問合せは児童館まで ☎988-3921

福祉健康まつり運営ボランティア募集！

平成23年度の福祉健康まつりは、10月16日(日)開催
 みんなと楽しくボランティアしてみませんか？

社会福祉協議会では、運営に協力していただけるボランティアを募集しています。内容は、赤い羽根募金キャンペーンの風船づくりやスタンプラリーの受付、抽選会の受付、各コーナーでのお手伝いなどです。お友達同士など、お誘い合わせの上ぜひご応募ください。
 申込み・問合せ 長泉町社会福祉協議会 ☎988-3920

お父さんのための地域応援講座vol②

男性のみなさん!『旬』の食材を使って、あつという間の簡単一品料理を作ってみませんか!

とき 10月1日(土) 午前9時30分～

ところ 長泉町福祉会館4階会議室

対象 町内在住の男性

定員 20名(定員なり次第締め切り)

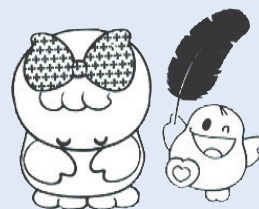
参加費 300円

申し込み 福祉会館内(社協窓口へ) 料金を添えて

問合せ 長泉町社会福祉協議会 ☎988-3920

10月から赤い羽根共同募金運動が始まります

10/1～12/31まで「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに町内の街頭、区、学校等において募金活動を実施します。長泉町の戸別募金は、区長連絡協議会を通じて各世帯へ募金の協力をお願いをさせていただいております。皆様の戸別募金は各区、各班の取り決めによって集められ、区で集約した募金は区長を通じて長泉町共同募金委員会事務局に納入されます。また、企業や商店等を訪問し募金をお願いする「法人募金」、小・中学校での福祉活動として呼びかける「学校募金」や「街頭募金」など様々な呼びかけをさせていただいております。どうか今年も共同募金へのご理解、ご協力をお願い申し上げます。



(街頭募金のお知らせ)

とき 10月4日(火) 午後4時から1時間程度

ところ カインズホーム長泉店(南一色)

ウェルディ長泉(下長窪)

長泉ショッピングセンターピュア(下土狩)

問合せ 長泉町共同募金委員会 ☎988-3920

※募金は任意の寄附行為ですので強制ではありません。

やさしい心ありがとう

○物品寄付(清拭布、牛乳パック、プルタブ、古切手、野菜他)

関あやこ、池田富美子、水口きみ江、稲井史代、安西栄一、岡崎莉奈、下山えり、村田良昌、大内キミ、古谷正子、村木好子、関千里、高橋たけ江、川瀬悦子、市川、金指智子、遠藤好子、林口知枝、高橋節子、下山まさ子、加藤将江、藤井和子、谷本峻崇、稲村やすえ、中島恵子、富樫友子、山田弘子、谷村洋子、米山裕子、わたなべひさし、小笠原マサエ、金田公、三島タイ子、喜久知麻子、みのり会、水蓮の会、ユニサイクルAmi長泉、長泉ロータリークラブ、華蓮の会、プラティノ、その他匿名3名(敬称略)

○寄付金

川口明、鈴木将雄、(株)共同開発、匿名1名(敬称略)

ご厚志に深く感謝申し上げます。

(平成23年7月1日～平成23年7月31日)

○東日本大震災義援金 総額 1,683,998円(7月31日現在)

長泉町ボランティア連絡会、和み会一同、長寿会グランドゴルフ球友会(敬称略)

※その他多くの方から義援金をいただきました。

被災地へは共同募金会又は日本赤十字社を通じて送金いたします。



東海ゴム工業(株)「TRIあったかクラブ」から寄付をいただきました



マックスバリュ東海(株)から車いすをいただきました